



ご入学を祝して

このたびは、鶴見大学短期大学部へのご入学、誠におめでとうございます。

保育科、歯科衛生科、そして専攻科保育専攻に入学された皆さんを、心より歓迎いたします。また、これまで皆さんを支えてこられたご家族の皆さまにも、深く感謝申し上げます。

本科に入学された皆さんは、保育者や歯科衛生士を目指し、学修をすすめていくことになります。保育者も歯科衛生士も、「人と向き合い、人を支える」ことを使命とする専門職です。人に寄り添い、その成長や健康を支えるという、社会に欠かすことのできない役割を担っています。

短期大学部での学びは、知識や技術の習得にとどまりません。授業や実習、仲間との対話、日々の小さな気づきの積み重ねを通して、「人を理解する力」「自分を磨く力」「学び続ける姿勢」が育まれていきます。これらは、専門職として長く活躍するための確かな土台となるものです。

保育科に入学された皆さんは、子どもの発達を深く理解し、生活や遊びを通して成長を支える専門性を磨いていきます。子どもは日々の経験の積み重ねの中で世界を広げていきます。その一つひとつに寄り添い、「やってみたい」「できた」という気持ちを支えることは、保育者の大切な役割です。実習では、子どもの予想外の行動に戸惑うこともあるでしょう。しかし、その戸惑いこそが子ども理解を深める貴重な学びとなります。仲間と語り合い、教員に相談しながら、保育の奥深さを味わってください。皆さんのまなざしは、子どもたちの育ちに寄り添う温かな力となっていきます。

歯科衛生科に入学された皆さんは、口腔の健康を通して人々の生活を支える医療専門職としての知識と技術を身につけていきます。歯科衛生士は、患者さんの不安に寄り添い、予防の観点から健康を支える重要な役割を担っています。医療の現場では、確かな技術とともに、相手の立場に立って考える姿勢が求められます。実習や演習では緊張や難しさを感じる場面もあるかもしれませんが、その経験を乗り越えるたびに、皆さんの専門性は確かなものへと育っていきます。患者さんの笑顔を支える存在として、誇りを持って学びを積み重ねてください。

専攻科保育専攻に進まれた皆さんは、すでに保育の基礎を身につけ、さらに高度な学びへと進む決意をされた方々です。これからの学びでは、子ども理解の深化、保育実践の質の向上、そして専門職としての視野の広がりが求められます。より専門的な学修や実践研究を通して、自らの保育観を磨き、現場で求められる力をさらに高めていってください。皆さんの学びは、未来の子どもたちに確かな影響をもたらし、保育の質を高める大きな力となります。

新しい環境に踏み出すとき、人は誰しも不安を抱えます。しかし、その不安の先には、必ず新しい出会いと成長が待っています。短期大学部での学びは、皆さんの人生にとって大切な基盤となる時間です。仲間と励まし合い、共に学びながら、自分の可能性を広げてください。

皆さんのこれから歩む道が、豊かな出会いと学びに満ちたものとなることを心より願っています。そして数年後、専門職として胸を張って社会に羽ばたく皆さんの姿に再び出会えることを楽しみにしています。

改めて、ご入学おめでとうございます。



令和8年4月4日

短期大学部長 田坂 裕子

